

WISS Challenge 2005： ビデオメッセージ・コミュニケーションシステムの提案

根岸 佑也 ， 河口 信夫 （名古屋大学） negishi@el.itc.nagoya-u.ac.jp

1. 目的

本提案書では、ビデオメッセージをベースとした非同期ビジュアルコミュニケーションシステムを提案します。

本システムでは、ロビーや廊下など、会場内の複数箇所に設置したキオスク端末に録画させたビデオメッセージを通じて、参加者間のコミュニケーションの促進を目的とします。具体的な利用例としては、参加者への連絡事項、質問時間外での発表に対するコメント、仲間同士での連絡などの支援が挙げられます。参加者は、あらかじめ登録済みの非接触 IC カードをキオスク端末にかざすことによって、手軽に自分へのメッセージが届いていないか確認し、閲覧、録画できるようにします。

なお、記録するメッセージには、公開するグループの範囲を指定できるようにします。例えば、参加者への連絡や発表者への感想や質問などのメッセージは、全員で共有できることが望ましいです。一方、打ち合わせなどの連絡メッセージは、グループ以外には非公開であることが望ましい場合もあります。

なお、全体へ公開するようなメッセージは、キオスク端末が待機状態の時に、映像だけ流しておくなどといった利用方法も考えられます。そのため、発表やポスター・セッションの宣伝、自分らが運営する Web サイトの宣伝など、同様の興味を持つ参加者間の交流促進を期待できます。

2. システム構成

提案システムは、次の要素から構成されます。

- ・ 閲覧者が持つ非接触 IC カード (Felica)
- ・ USB カメラ + マイク + スピーカー + Felica リーダ・ライタを接続したキオスク端末用 PC
- ・ 簡易ポータルサイトの Web サーバとビデオを蓄積するためのサーバ用 PC
- ・ 各 PC を接続するためのネットワーク

キオスク端末は、ロビーやポスターセッション会場の廊下など、参加者がよく利用するような場所に設置の予定です。この様子を Fig.1 に示します。また、機材リストの詳細は別紙を参照してください。

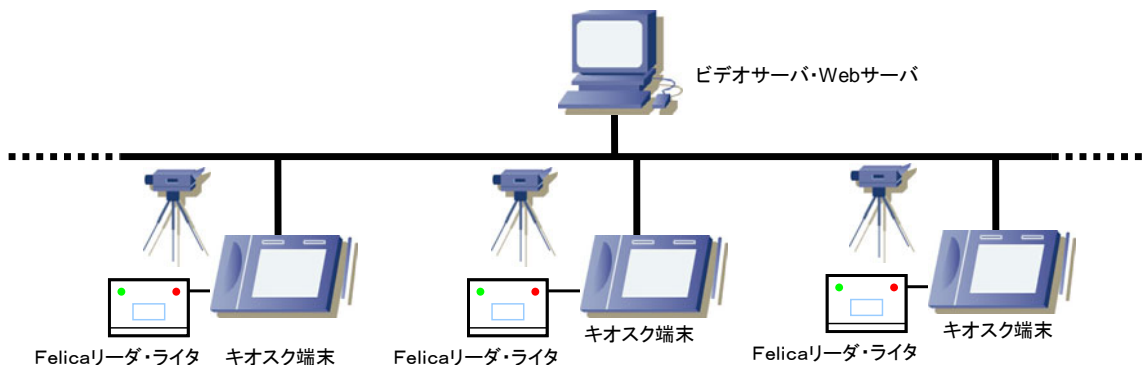


Fig.1 システム構成図

3. 使用方法

本システムでは、キオスク端末での新着ビデオメールの確認、閲覧、録画を行うことができます。

- ① 利用者は、キオスク端末上の Felica リーダ・ライタに自己の Felica を置くことで、自己宛のメッセージを閲覧します。個人宛以外にも、全体へ公開するメッセージも選択可能です。
- ② 同様にして、メッセージの記録もキオスク端末に自己の Felica を置くことで、ログインし、記録操作を行います。この時に、全体公開かプライベートかを指定します。

記録したメッセージは、管理サーバへ蓄積するので、閲覧のみであれば、Web ブラウザ経由で各人の PC から利用できるようにします。